

福祉避難所への災害時電源用蓄電池の配備について

1 目的

浸水想定エリア内に居住している人工呼吸器など、医療的ケアを必要とする方を守るため、要配慮者を受け入れる福祉避難所の中に当該避難者を受け入れる態勢を整える。

風水害による浸水被害の危険性が低い地区にあり、医療機関へのアクセス性も考慮した福祉避難所3か所（障がい者総合サポートセンター、上池台障害者福祉会館、まごめ園）を選定し、停電下においても生命維持に必要な医療的ケアが実施できるよう、当該避難所で担当する医療的ケアの種別及び避難予定者の人数から必要電力量を算出し、それに応じた蓄電池を配備する（詳細下表）。

避難所別必要電力量の内訳		
	収容者数および 1時間で必要な総電力	蓄電池台数及び電力
障がい者総合サポートセンター	約25人	3,500w × 4台 = 14,000w
	12,550wh	
上池台障害者福祉会館	約40人	2,000w × 4台 = 8,000w
	7,800wh	
まごめ園	約20人	2,000w × 2台 = 4,000w
	2,240wh	

2 避難所別受入対象者

【障がい者総合サポートセンター】

主に重度～中程度の医療的ケア（人工呼吸器、酸素の使用者）が必要な方

【上池台障害者福祉会館】

主に中程度の医療的ケア（酸素、痰吸引の使用者）が必要な方

【まごめ園】

主に軽度の医療的ケア（ネブライザー等の使用者）が必要な方

3 配備の時期

今年度中（予定）。